

[BLS (Basic Life Support) 講習会 実施

平成21年11月～12月に、計6回にわたってBLS講習会を実施し、篠山キャンパスの全教職員が受講しました。この講習会の開催に先立って、2回のBLS指導者養成講習会が開催され、様々な職種の教職員が一丸となってBLS講習会の指導に当たりました。

講習会は篠山市民センターにおいて行われ、医療の質・安全管理委員会の山本 憲康 委員長の指導のもと、心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の使用法を約2時間かけて学びました。現在、AEDは篠山病院玄関前、第2病棟、第3病棟、ささやま老人保健施設に設置されています。

篠山キャンパスは平成22年6月の新病院の開院に向けて、より安全で質の高い医療を提供していくことが求められています。この講習会の開催によって全教職員の医療安全への意識がより一層高まる事が期待されます。



篠山病院整備工事の進捗状況(11月末現在)

建物のコンクリート躯体工事が4階まで完了して、外装サッシ取付、外装タイル貼工事を施工中です。設備工事も建築にあわせて、天井内の配管・配線工事が鋭意施工中です。



東側全景



南側全景

1階内科診療室の現地説明会(平成21年11月5日、6日)

福田病院長、上谷看護部長をはじめ医師・看護師、事務員が参加し、現場(コンクリート躯体が完了済み)の床に間仕切り壁の位置が描かれた場所で、機器及び什器等の原寸パネルを使用して診療室のレイアウトを検討しました。



ささやま探訪

丹波篠山冬の味覚「第7回いのしし祭」

平成22年1月30日(土) 篠山城跡周辺
 ・年に数回しか販売されず「幻」と評される「丹波ーガー(たんばーガー)」
 ・商店街の特設コースを野生のいのししが駆け抜ける迫力満点「ドドいのしし猛レース」
 ・丹波杜氏のこだわりの酒が楽しめる丹波篠山地酒コーナー
 その他、いのししを使った様々な料理もある「いのしし」づくしのイベントです。



平成21年第6回いのしし祭り(丹波新聞提供)

早春の丹波路を走る「第30回篠山ABCマラソン大会」

平成22年3月7日(日)
 風情の残る城下町とのどかな田園風景が広がる篠山城跡マラソンコースを走りましょう!
 (前回の第29回大会では9695名が出走し完走率は78.1%)



平成21年第29回ABCマラソン大会

平成22年度兵庫医療大学 入学試験速報

推薦入学試験結果

試験会場:兵庫医療大学 選考方法:外国語、小論文、調査書

専願制 試験日:平成21年11月14日(土)
 合格発表:平成21年11月26日(木)

学部学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部 医療薬学科	20名	37名	34名	24名	1.4倍
看護学部 看護学科	30名	154名	152名	30名	5.1倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	10名	94名	93名	12名	7.8倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	15名	43名	43名	18名	2.4倍

※ 実質倍率は「受験者/合格者」

併願制A日程 試験日:平成21年11月15日(日)
 合格発表:平成21年11月26日(木)

学部学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部 医療薬学科	7名	40名	36名	19名	1.9倍

専願制・併願制A日程追試験 試験日:平成21年12月5日(土)
 合格発表:平成21年12月11日(金)

学部学科	対象となる試験	受験者	合格者
薬学部 医療薬学科	専願制	1名	0名

併願制B日程 試験日:平成21年12月5日(土)
 合格発表:平成21年12月11日(金)

学部学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
薬学部 医療薬学科	7名	17名	17名	8名	2.1倍

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験がこれから始まります!

一般入学試験

前期A日程

募集人員	薬学部 医療薬学科 60名 看護学部 看護学科 60名 リハビリテーション学部 理学療法学科 25名 リハビリテーション学部 作業療法学科 12名
試験科目	薬学部: 外国語(100点)、数学(100点)、化学(100点) 看護学部: 外国語(100点)、国語(100点)、理科選択(化学または生物)(100点) リハビリテーション学部 理学療法学科: 外国語(100点)、数学(100点)、理科選択(化学または生物)(100点) リハビリテーション学部 作業療法学科: 外国語(100点)、国語(100点)、理科選択(化学または生物)(100点)
出願期間	平成22年1月4日(月)～1月22日(金)消印有効
試験日	平成22年1月30日(土)
試験場	薬学部、リハビリテーション学部: 兵庫医療大学 看護学部: 神戸ポートアイランドホール(通称=ワールド記念ホール)
合格発表	平成22年2月10日(水)

前期B日程

募集人員	薬学部 医療薬学科 30名 リハビリテーション学部 作業療法学科 8名
試験科目	薬学部: 外国語(100点)、化学(100点) リハビリテーション学部 作業療法学科: 外国語(100点)、数学(100点)、理科選択(化学または生物)(100点)
出願期間	平成22年1月4日(月)～1月22日(金)消印有効
試験日	平成22年1月31日(日)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成22年2月10日(水)

後期日程

募集人員	薬学部 医療薬学科 10名 看護学部 看護学科 5名 リハビリテーション学部 理学療法学科 5名 リハビリテーション学部 作業療法学科 5名
試験科目	薬学部: 外国語(100点)、数学(100点)、化学(100点) 看護学部: 外国語(100点)、国語(100点)、理科選択(化学または生物)(100点) リハビリテーション学部 理学療法学科、作業療法学科: 外国語(100点)、小論文(100点)、理科選択(化学または生物)(100点)
出願期間	平成22年2月8日(月)～2月19日(金)消印有効
試験日	平成22年2月27日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成22年3月9日(火)

平成22年度一般入学試験における新型インフルエンザ対応として、前期A日程及び前期B日程の追試験を、2月11日(木・祝)に実施する予定です。なお、後期日程の追試験は実施しない予定です。

大学入試センター試験利用入学試験

募集人員	薬学部 医療薬学科 6名 看護学部 看護学科 5名
試験科目	薬学部: 国語(近代以降の文章)、数学①(数学Iまたは「数学I・数学A」より1科目選択)、 数学②(数学IIまたは「数学II・数学B」より1科目選択)、 理科①(化学I、理科②(生物Iまたは物理Iより1科目選択)、英語(筆記・リスニング) 看護学部: 国語(近代以降の文章)、理科(化学Iまたは生物Iより1科目選択)、英語(筆記・リスニング)
出願期間	平成22年1月4日(月)～平成22年1月22日(金)消印有効
合格発表	平成22年2月10日(水)

※ 詳細はホームページ・学生募集要項でご確認ください。

平成21年10月10日(土)、11日(日) 第2回兵庫医療大学 大学祭「海梟祭」

両日共に爽やかな秋晴れの下、中庭の野外ステージや、校舎内でのイベント、模擬店やフリーマーケット、軽音ライブなど、多くの催しが行われました。在校生をはじめ、保護者や地域の方々、友人、受験希望者などが楽しみました。

「出逢えてよかった～あなたとお前と～」

何気なく笑い合ったり、ケンカしている友達や家族、先生など様々な人との出会いはかけがえのないものであり、その出逢いを大切にしよう、という思いが込められた今年度のスローガン。「この海梟祭を通して周りの人との絆を深め、さらに多くの人と出逢ってほしい」と願い、大学行事実行委員会を中心に、学生たちは準備から当日の運営まで力いっぱい頑張りました。

■学部別イベント

薬学部

薬膳料理は八宝補血粥と十全大補粥の2種類。僕たちが作りました!



漢方喫茶では、「漢方医学的夏バテ問診表」に答えて問診結果に合わせたドリンクと薬膳料理がふるまわれました。



芸術研究会展示



フリーマーケット



医療研究会 アロマオイル研究



Find Your Face!



写真サークルPhotoBugのPhotoCafeに展示された兵庫医療大学の写真。教職員や学生の顔写真がぎっしりと埋め得つくされてきたもので、圧巻。

看護学部



「リラクゼーション」をテーマに、アロマオイルを用いた手浴体験を開催。一人約20分かけて日々の疲れを癒してもらいました。行列ができるほど好評でした。

リハビリテーション学部 理学療法学科



車椅子体験やむくみ取り、パラフィン体験、筋力測定など、授業でおこなう実習の一部を参加者にも体験してもらいました。

リハビリテーション学部 作業療法学科



革細工&七宝焼の体験コーナーを開催。学生のアドバイスを受け、世界でたった一つのキーホルダー作りに、参加者は真剣そのものでした。

■野外ステージ



ベストカップルコンテスト、ダンス、歌上手い人コンテスト、軽音ライブ、Mr.兵庫医療コンテスト、JAZZライブ、お笑い芸人ライブ、学部別コンテストなどが開催されました。コンテストの投票は全て10円玉で行い、集まったお金は基金として寄付されました。

ベストカップル賞を受賞!



■医療講演会

「今を生きる～出会い」(10月10日)

歌手のより子さん、自らの闘病生活や入院中に沢山の看護師が母親のように接してくれて嬉しかったこと、そのような生活の中で音楽と出逢い唄い始めたことなどを話しながら、「今を楽しんで生きることの素晴らしさ」を伝えてくれました。「医療・福祉の仕事を目指すみなさんを、心から応援しています」とメッセージをいただきました。



■課外活動奨励賞 授与

積極的な活動と優秀な成績を残したことが評価され、(左から)芸術研究会、バスケットボール部、野球部が受賞しました。



■模擬店



海梟祭を終えて

大学行事実行委員会 委員長
リハビリテーション学部 作業療法学科 2年生

宮 佐知さん



第2回海梟祭を無事に開催することができてほっとしています。まず実行委員会のメンバーを集めることから苦労したことが心に残っています。昨年中心となって活動されていた約50名の先輩方に代わって、今年は40名でスタートし、特に夏休みに時間をかけて活動しました。

今回、特に苦労したのは、協賛をお願いする範囲を大幅に拡大したこと、フリーマーケットの企画・運営を全て自分たちで行ったこと、部活・サークル団体による模擬店の運営方法を変更したことなど、今まで学校側に頼っていた部分を自分たちで管理するようにしたことでした。初めて経験することも多く、先生方、事務の方を始め、企業の方にもたくさんアドバイスをいただきました。

特に、大学祭の2週間前ぐらいからはやらなければいけないことが多くあり、どの担当も夜遅くまで残って頑張ってくれました。前日にステージが建てられ、模擬店のテント等の準備が進められていく様子を見てると、すごくワクワクしてきたのを覚えています。

開催当日の2日間はあっという間に過ぎ、2日目の最後の方には、大学祭のために頑張ってきたこの半年間に対する充実感と達成感でいっぱいになりました。私自身、人前に立つことが苦手で苦労することもありましたが、たくさんの人からお礼や感謝の言葉をかけていただき、初めて「私も少しでも誰かの役に立てていたかな」と思いました。

大変なことも数え切れないほどありましたが、第2回海梟祭の開催に、大学祭実行委員長として携われて本当に良かったと思います。



ステージ パネル作製中



大学行事実行委員会

教育・学生支援グループから

今年の春ごろから、新しいメンバーとなった大学行事実行委員会を中心に準備が行われました。大学祭前日まで模擬店やフリーマーケット運営方法、新しい企画の検討、ステージパネル作成のため、夜遅くまで残って打合せや作業を行い、大学祭協賛金の依頼や大学祭の広告のため、夏休み中に多くの企業や店舗を走り回っていました。またイベント会社や医療講演会の講演者と何度も調整、交渉を重ね、学内では有志企画の募集、コンテスト出場者の募集のため、学生に呼びかけたりと、たくさんの苦労、努力を重ねてきたと思います。

その結果、大学祭当日は、大学行事実行委員会で開催されたイベントに加え、多くのクラブ、サークル、学生有志からの模擬店、展示、ステージ等でも盛り上がり、一時、屋外ステージがある芝生広場が来場者でいっぱいになることもありました。

大学祭の準備、運営では大変な部分がたくさんあったと思いますが、大学祭を通して得た経験、今年度のテーマである出会いを大切に、今後の大学生活をよりよいものとして頂きたいと思います。

就任挨拶



薬学部
教授 門林 宗男
(平成21年10月1日就任)

このたび、平成21年10月1日付にて兵庫医療大学薬学部医療薬学科の教授に就任いたしました。同一学校法人内の配置換であります。関係の諸先生をはじめ多くの方々に大変お世話になりましたこと、厚く御礼申し上げます。私は、近畿大学薬学部薬学科卒業後直ちに大阪大学医学部附属病院薬剤部に入局し、その後、市立堺病院薬剤部長を経て平成12年4月より兵庫医科大学病院薬剤部長として勤務させていただき、多くのことを経験し学ばせていただきました。これからは新しい大学で新しい薬学教育に携わることとなりますが、未知の領域への進行であり、身の引き締まる思いとともに開拓者精神が沸々と湧いてきています。

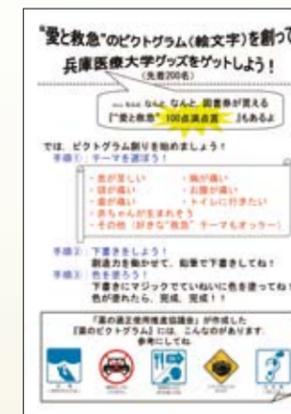
医療は、専門職が的確に役割を果たすことによって安全で安心な医療を患者さんに提供でき、医療への信頼が築かれることと思います。また、治療には、医薬品をはじめとする様々な“もの”を利用せねばなりません。医薬品は、人類の英知と計り知れない時間と犠牲の結果ようやく手にした大変貴重な“もの”です。しかし、どんなに優れた“もの”であっても、使い方を誤ると本来の性能を期待できないばかりか、逆に危害の原因になります。ごく微量で人体に大きな影響を与える医薬品ではことさら注意が必要です。そこで、医薬品の適正使用が重要となり、そのための臨床薬理学分野の教育・研究が不可欠といえましょう。私は、医療安全を含めてこの分野に注力し、ヒューマンズに立脚し高い倫理観をもって医療に貢献できる人材育成のために全力を尽くす所存でありますので、よろしく願い申し上げます。

薬学部「医療ユニバーサルデザイン」ゼミ 長田発 第9回こうべUDフェアに参加

平成21年11月3日に開催された長田発 第9回こうべUDフェアに、薬学部の前田 初男教授と石崎 真紀子非常勤講師が開講する「医療ユニバーサルデザイン」ゼミナールの学生12名が体験ブース「愛と救急」のピクトグラム(絵文字)を創って兵庫医療大学グッズをゲットしよう!で参加し、地域の子供達と楽しい時間を過ごしました。「愛と救急」100点満点賞を受賞した小学

校高学年の女子生徒には図書券を贈呈しました。

「医療ユニバーサルデザイン」ゼミでは、薬局内や薬袋に使用される絵文字(ピクトグラム)、ボイスメッセージ薬袋など、「ヒトと薬が接する瞬間を優しく安全にサポートする UD の提唱」を目指し、さまざまな活動を行っています。参加した学生たちは「子供達の感性豊かなピクトグラムにはびっくり!」と話していました。



キャリアデザインセンター 第2・3回仕事研究セミナー開催

平成21年10月8日に開催された、第2回仕事研究セミナー「私の仕事～MR女子のため息～」は、MR(医薬情報担当者)として現在ご活躍されている、大日本住友製薬株式会社勤務の岩崎美帆子氏を講師にお迎えしました。セミナーは参加者との質疑応答形式で行われ、MRの職務内容や1日のスケジュール、MR認定試験科目についてなど、解りやすく教えていただきました。セミナー終了後も学生からの質問が絶えず、MRは知識の豊富さだけでなく、それを相手に伝える力、コミュニケーション能力が大切だということ学びました。



10月8日「MR女子のため息」

また、平成21年11月5日には、第3回仕事研究セミナー「私の仕事～記者から医療現場へ～」を開催しました。講師には、共同通信社の記者を経て、現在東神戸病院で理学療法士としてご活躍中の石沢朝子氏をお迎えし、記者から理学療法士を目指すことになったきっかけ、記者経験の立場から見た医療などについてご講演いただきました。理学療法士の仕事は、患者さんの人生にクロスする(関わる)という点が魅力とのこと。「できるだけ多くの人と関わって、多様な価値観の中から自分の価値観を見つけてください」とのメッセージをいただきました。



11月5日「記者から仕事現場へ」

兵庫医療大学キャリアデザインセンターでは、現役で活躍されている方々の話を直接聞くことができるセミナーを開催しています。積極的に活用して、自らのキャリアデザインを行う上での「気づき」の機会にしてほしいと願っています。

学生相談室イベント開催

平成21年11月10日と12日に、学生相談室主催のイベント「ほっといっぷく コラージュで遊ぼう」が開催されました。コラージュとは、フランス語で糊付けを意味し、たくさんの雑誌やチラシの中から好きな写真や絵を切り抜いて、1枚の紙の上に貼っていくことで構成される、現代絵画技法の1つです。今回のイベントは、遊びを通して自由に自分の世界を表現することで、リフレッシュしてもらうことを目的として行われました。2日間で10名の学生が参加し、用意されたお菓子を食べながら、和やかな雰囲気の中でイベントは行われました。

最初は難しそうと言っていた学生も、時間が経つと作品に熱中する姿が見られました。コラージュは自由な発想を楽しむもので、好きなものを切って貼るだけで、自分の世界を表現することができます。あまり考えずに制作したはずですが、1枚の紙の上にはそれぞれ違ったものが表現されており、個性的な作品が次々と完成していきました。

学生相談室では、開かれた相談室として、学生が利用しやすいよう、風通しのよい環境作りの一環として、今後もイベントを開催する予定です。



規程等の制定・改正(規程等の全文は学内ネットに掲載)

No	項目	制定・改正の趣旨	制定・改正日
1	兵庫医科大学における任期を定めて採用する教員に関する規程	寄附講座及び特定講座に関する規程の制定に伴い別表を改正。	平成21年10月 1日
2	兵庫医科大学学則	「臨床腫瘍薬制御学」(寄附講座)を設置する旨の別表1の改正。及び、大学入試センター試験利用入試の検定料を学則に定めるため改正。	平成21年12月 1日
3	兵庫医科大学大学院学則	大学院の先端医学専攻の授業科目にアレルギー学を加えるため改正。	平成21年 4月 1日
4	兵庫医科大学病院 臨床研修医規程	臨床研修制度の改正に伴う改正。	平成21年11月 4日
5	兵庫医科大学病院 臨床研修歯科医規程	臨床研修制度の改正に伴う改正。	平成21年11月 4日
6	薬剤部長候補者選考内規	薬剤部長の任期を3年(再任可)にするため改正。	平成21年11月17日
7	看護部長候補者選考内規	看護部長の任期を3年(再任可)にするため改正。	平成21年11月17日
8	地域医療・総合相談センター規程	入退院管理室の設置に伴う業務の移管による改正。	平成21年11月19日
9	地域医療・総合相談センター 運営委員会規程	入退院管理室の設置に伴う業務の移管による改正。	平成21年11月19日
10	兵庫医療大学 利益相反マネジメント規程	兵庫医療大学の産学官連携活動を推進するにあたり、利益相反を防止し、マネジメント体制を構築して適正に管理するため制定。	平成21年10月19日
11	兵庫医療大学放射線障害予防規程	兵庫医療大学RI実験センターでは使用しない密封放射性同位元素及び表示付放射性同位元素装着機器に関する条項を削除するため改正。	平成21年11月17日
12	兵庫医療大学講義室等の貸与に関する規程	兵庫医科大学連携病院の会会員及び兵医・萌えの会法人会員に本規程を適用するため改正。	平成21年11月17日
13	兵庫医療大学研究員規程	兵庫医療大学の学術研究の充実と推進を図るため学外からの研究員の受入れ規程を制定。	平成21年11月17日
14	兵庫医療大学における 研究活動の不正行為に関する取扱規程	「研究機関における公的資金の管理・監査のガイドライン(実施基準)」に基づき、研究活動の信頼性と公正性を厳正に確保するため制定。	平成21年11月17日
15	兵庫医科大学学則	大学入試センター試験利用入試の検定料を学則に定めるため改正。	平成21年11月24日
16	学校法人兵庫医科大学 大学連携協議会規程	篠山病院長及び医療人育成センター長を連携協議会の委員に加えるため改正。	平成21年12月 1日

■ 兵庫医科大学 ■ 兵庫医科大学病院 ■ 兵庫医療大学 ■ 学校法人兵庫医科大学

利益相反マネジメント講演会 実施

平成21年10月14日、9-2講義室において、利益相反マネジメント講演会を実施しました。本学では、平成21年4月に兵庫医科大学利益相反マネジメント規程を制定し、利益相反マネジメント委員会の体制を整備しています。今回は利益相反に関する啓発活動の一環として、本学利益相反マネジメント委員で神戸大学 連携創造本部 戦略企画部門長 塩野 悟 特命教授に「利益相反(COI)マネジメントの背景と取組みの考え方について」という演題にてご講演いただきました。



自衛消防訓練〈総合訓練〉(10号館8階病棟) 実施

平成21年10月27日、人手の少ない深夜帯に10号館8階病棟のごみ庫で火災が発生したことを想定し、教職員約100名が参加して自衛消防訓練を実施しました。非常放送によって各部署から駆けつけた医師、看護師、コメディカルが力を合わせて27名の仮想患者を病棟から8号館5階へ避難させ、逃げ遅れと想定された2名については消防署員によって梯子車で救助されました。また、消防訓練終了後に5号館南側芝生にて消火器訓練を実施しました。

訓練後、太城病院長より「全体的にはよかったが、一部で避難道具が正しく使用できていなかったため、今一度、避難道具の使用法の習得を徹底する必要があります。また、教職員一人ひとりが火災発見時の初期行動の流れを頭に入れておくように。」との講評がありました。

今回は本学の訓練に併せて西宮市消防局、鳴尾消防署及び西宮消防署が合同で訓練を実施し、消防車両8台、消防署員約30名が参加しました。



病棟から避難道具で仮想患者を避難させる医師・看護師ら



逃げ遅れた仮想患者が消防署員に見え・救助され、梯子車へ誘導される様子



太城病院長の講評を聞く参加者



消火器訓練で実際に消火を体験

学校法人 兵庫医科大学 平成21年度西宮市民文化賞を受賞

学術・芸術・体育・社会事業・生活文化等に功績があった個人及び団体に贈られる「西宮市民文化賞」の贈呈式が平成21年11月3日、西宮神社会館において行われ、本学からは理事長、及び事務局長が出席し表彰を受けました。

平成21年度の受賞は本学を含め3個人2団体で、本法人の受賞理由は以下の地域社会貢献などが認められたことによるものです。贈呈式に引き続き、兵庫医科大学室内楽団による演奏も披露されました。

- 建学の精神のもと、全人的医療を担う人間愛あふれる良医を育成する教育を
実践し、多くの有能・有為な人材を輩出
- 「インターカレッジ西宮」や「市民健康講座」を通して「文教住宅都市・西宮」のまち
づくりに貢献
- 阪神間の第3次救急医療機関として、次世代救急医の育成に力を注ぎ、重篤な患
者に対し高度な救急医療を提供するなど地域社会に大きく貢献



贈呈式



兵庫医科大学 室内楽団の演奏

第2回 学校法人兵庫医科大学連携病院の会が 開催されました

平成21年11月27日(金)17時より兵庫医療大学のオクタホールにおいて第2回兵庫医科大学連携病院の会が開催されました。

この連携病院の会は、大学と連携病院が人事の交流等により相互の活性化を促進し、組織的な連携を強めること、大学と連携病院に在籍する医師の臨床教育・研修・研究及び診療技術の向上を図ること、効率的で有効な学生教育に資することや地域医療の向上に寄与すること等を目的に設置されました。

従来、「兵庫医科大学連携病院の会」として兵庫医科大学に本会を設置していましたが、兵庫医療大学と連携病院との連携を明確にするため、会の名称を「学校法人兵庫医科大学連携病院の会」に変更し、併せて本会の開催を原則年1回に改める旨、太城会長より説明があり両題ともに了承されました。

当日は58の病院、89名の先生方にご参加いただきました。パネルディスカッションでは6名の方々よりそれぞれ下記テーマに沿って発表が行われました。その後は発表者による討論会が行われ、医療現場の実情や様々な苦労談とともに、その解決に向けた取り組みなどについて意見を交換されました。



左から松田学長、太城病院長

第2回 兵庫医科大学連携病院の会 プログラム

日時：平成21年11月27日(金) 17時～ 場所：兵庫医療大学 オクタホール

- 1.開会の挨拶 兵庫医科大学 波田 壽一 学長
- 2.会則の一部改正について／その他
- 3.パネルディスカッション「これからの医療専門職者の役割」
 - ・イントロダクション
 - 〈チーム医療から見た今後の展望〉 兵庫医療大学 松田 暉 学長
 - ・学生教育から見た各専門職の将来
 - 〈薬学部の立場から〉 兵庫医療大学 薬学部 東 純一 教授
 - 〈看護学部の立場から〉 兵庫医療大学 看護学部 上原 ます子 教授
 - 〈リハビリテーション学部の立場から〉 兵庫医療大学 リハビリテーション学部 土肥 信之 教授
 - ・医療現場の実情と展望
 - 〈専門看護師・認定看護師の活用〉 兵庫医科大学病院 山田 繁代 看護部長
 - 〈コメディカルの病院経営参加〉 協立会協立病院 中塚 圭子 看護部長
 - ・総合討論
- 4.閉会の挨拶 兵庫医科大学病院 太城 力良 病院長
- 5.意見交換会 レストランにおいて懇親



波田学長



左から土肥教授、上原教授、東教授、山田看護部長、協立会協立病院 中塚看護部長





地域医療の輪を拡げていきたい

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター
看護師 片岡 優実 さん 師長 小西 尚美 さん ソーシャルワーカー 伊賀 陽子 さん 助教 (左から)

病診・病病連携の流れの中で、患者さんにより充実したサービスを提供する目的で、平成17年12月に地域医療・総合相談センターが設置されました。地域医療連携業務、総合相談推進業務、退院計画支援業務、ボランティア業務を柱に、医師、看護師、ソーシャルワーカー、コメディカル、事務員がそれぞれの専門性を活かし、患者さんとそのご家族を包括的にサポートしています。また、特定機能病院として積極的に地域医療機関との連携を推進し、地域の方々や医療・保健・福祉の統合の下に、適切な医療サービスを受けられるよう活動しています。



焦らずじっくりとサポートし続けたい

片岡 優実 さん

糖尿病や神経難病など、長く病気と付き合いなければならぬ患者さんがおられます。慢性疾患看護専門看護師の専門性を生かして、主に内科系の患者さんのサポートに関わっています。経腸栄養や自己注射など医療処置に関することや、訪問看護師からの問い合わせなど、病棟や医師との橋渡しをする「つなぎ役」としての大きな役割を担っています。指導・支援する際には、医療者として「こうすべき」というものを押し付けてしまわないように気をつけています。治療やケアが負担となって、患者さんが治療をあきらめてしまったり、ご家族との関係性が崩れたりすることがないように、焦らずじっくりとサポートしていきたい。たとえ時間がかかったとしても、患者さんやご家族のお気持ちに寄り添って少しずつ前進すること。難しくもありますが、とてもやりがいがありますね。

退院調整にやりがいを感じています

小西 尚美 さん

主に、外科系の患者さんやターミナルケアを必要とされる患者さんのサポートに関わっています。訪問看護や医療施設、ホスピスなどと連携して、患者さんご家族が納得して退院し、安心してその後の生活を送っていただけるように、退院調整に全力を注いでいます。「早く退院したい」「少しでも長く家族と一緒に過ごしたい」など、患者さんご家族の要望は様々ありますが、出来る限りお聞きしたいと思っています。また、病棟スタッフが「患者さんを無事に退院させることができた」と実感できることも大切だと考えています。患者さんやご家族と、病棟スタッフの双方の気持ちを汲み取りながら、関係部署を巻き込み、ある程度のスピード感を持って行う退院調整にとってもやりがいを感じます。信頼関係を築けた患者さんやご家族から近況報告をいただくこともあり、とても嬉しいですね。

納得し決断するまでのプロセスに付き添うこと

伊賀 陽子 さん

病気の有無に関わらず、患者さんには「生活」があります。病気になり治療を受けることでこの生活に支障が生じたり、ご家族や社会環境にまで何らかの影響を及ぼしたりすることがあります。逆に、社会環境が原因で病気を発したり、治療に悪影響が出たり、という場合もあります。ソーシャルワーカーとして、この相互に作用する「生活」と「病気・治療」のバランスを取ることが重要であり、医師や看護師とは違った視点での関わりが必要です。現在、7名いるソーシャルワーカーはニーズに応じて担当する専門領域があり、私は主に血友病と精神疾患、HIVの患者さんの支援に関わっています。必ずしも、患者さんやご家族の期待と病院側の考えが一致するとは限らず、決められた時間の中で最善策を練らなければいけない。こういったジレンマを抱えながらも、「十分に話し合い、最終的に患者さんが納得して決断するまでのプロセス」にお付き合いさせていただくこと、それが私たちの使命だと思っています。



整形外科学の奥深さを日々実感しています

兵庫医科大学篠山病院 整形外科
病院助手 奥野 真起子 さん

兵庫医科大学篠山病院 整形外科では、捻挫や打撲、骨折などの外傷や、加齢に伴う運動器疾患(リウマチや変形性関節症、骨粗鬆症など)、成長に伴う運動器の異常を中心に、各科やリハビリテーションセンターと連携しながら総合的な診断・治療、研究と、社会復帰までの継続したケアを行っています。

手術件数が多く、実践力がつきます

週に2日の外来診療以外は、ほぼ手術をしています。楊准教授や先輩医師のサポートのもと、様々な症例に携わらせてもらえるので、実践力がつき、勉強になります。忙しくはありますが、休日にしっかりとリフレッシュして疲れやストレスを発散し、心身ともに健康な状態を保っています。

患者さんの期待に応えたい

たとえ医師として最善の治療をしたと思っても、必ずしも患者さんに満足していただけるとは限りません。治療を受ける患者さんが抱く期待は様々です。患者さん一人ひとりの思いをしっかりと受け止めて応えていきたい。とても難しいと感じると同時に、整形外科学の奥深さを感じています。



女性の整形外科医として

増えてきてはいますが、女性の整形外科医はまだ少ないと思います。私は学生時代にラクロスをしていて、大好きなスポーツに何らかの形で関わりたい、と整形外科医になりました。身長は153cmと高くはなく、力なども男性にはかないません。そんな私でも、多くの手術を行う整形外科医として頑張れるのは、「成せばなる」の信念があるからです。決めた以上はとことんやる! という思いは医師を目指した時から変わりません。また、「整形外科は力だけではない」と先輩方も応援してくれます。もっと女性の整形外科医が増えると嬉しいです。



緑の山々に囲まれた篠山には、美味しい食べ物と空気が沢山あります。都心部にも程よく近く、実習に訪れる学生も多くて篠山キャンパスはいつも賑やかです。全体の連携がよく、他科の医師や、看護師、コメディカルとのコミュニケーションも取りやすい職場です。



教育のプロ、研究のプロであること

兵庫医療大学 薬学部(薬剤・薬物動態系)

教授 九川 文彦 さん

薬剤・薬物動態系は薬剤・製剤学、薬物動態学を主な教育・研究分野としています。この分野は、医療系学部で教育・研究される学問の中でも薬学部だけに存在する学問です。もちろん工学部や理学部にもなく、非常に「薬学的」研究分野と言えます。

薬剤師として働くためには、「化学物質としての薬」と「その薬を受け入れる人体」の2つのことをわかっていなければいけません。研究対象が2つに分かれるため、「薬剤学」と一口に言っても、薬である物理薬剤学と、ヒトの体である生物薬剤学に分けられます。生物薬剤学は、さらに薬物動態学という分野を含みます。これは体の中に取り込まれた薬の動態(運命)を研究する学問です。例えば、代謝されて排出されやすい薬を飲む場合、体の中に長い時間留めておくためには、沢山飲む必要があると直観的に思いますね。しかし、沢山飲めばそれでいいというわけではなく、今度は副作用の心配が必要になります。

このように、薬剤学というのは、薬の化学物質としての性質を良く理解して、それを「医薬品」にするにはどうすればいいか、また、薬が体の中に入ったときにどう効いていくのかを研究する学問体系になります。

薬物動態学

上記の「薬物動態学」のなかでも「薬物トランスポーター」と「薬物代謝酵素の発現制御」を主な研究テーマとしています。トランスポーター(transporter)とは、「輸送するもの」の意味で、人の体の中における薬の動態を考える上で、この薬物トランスポーターが非常に重要な働きをしている事が分かっています。これは私が21世紀になって始めた新しい研究テーマです。また、様々な種類の薬を飲む患者さんは、かかる病気によって薬の効き方が変わってしまうことがあります。「薬物代謝酵素の発現制御」の研究では、そのメカニズムを研究し、将来的には「必要な薬を必要な量だけ飲むにはどうすればいいか」を明らかにしたいと思っています。

神戸市長田区に「鉄人28号」が登場しましたが、私にとっては「鉄腕アトム」の方がインパクトが強く、特に「お茶の水博士」に憧れていました。「博士」というのはあんなにすごいものが作れるんだ!と子供心に感動していました。研究(実験)のプロ「博士」になりたいと、実際になったわけですが、気がつけば、ロボット工学ではなく分子薬物動態学の方に興味に向いていました。研究に限らず、何にでもプロ意識を徹底させることを心がけています。教育者として、「兵庫医療大学を卒業して良かった」と思える学生を一人でも多く輩出したいですし、薬学部国家試験対策委員長として、薬剤師国家試験対策にも全力で臨みたいと思っています。

薬剤師国家試験

平成24年度に、本学の薬学部を卒業する第一期生が薬剤師国家試験を受けます。全員が無事に合格できるように、薬学部全教員一丸となって取り組んでいます。また、薬学部の学生は、実務実習の始まる5年生に進級する時にOSCE(実技試験)と、CBT(学科試験)にパスしなければいけません。これはプレ国家試験とも言え、同様に万全の構えで向かっています。

薬剤・製剤学

准教授 伊藤 壮一 さん

より優れた剤形の医薬品を研究しています。「優れた剤形」といっても、効果が強い、効果が持続する、便利である、刺激が少ない、安定性が良いなど、その意味するものは色々あります。見体的には「院内調剤における調剤上の問題点の解決」「医薬品の新規の投与方法を開発することによる薬効発現の制御」「治療目的に合った高機能な剤形の開発」「(ジェネリックなどの)医薬品の効果を比較できる簡便な試験法の開発」です。もう一つの主要な研究の柱は「医薬品と受容体タンパク質との相互作用解析」「タンパク質のX線やNMRによる立体構造解析に基づく薬効発現のメカニズムの解明」「各種熱力学的測定による医薬品やタンパク質の物性の解析」です。

製剤学の基礎は物理化学と化学です。調剤を行うにも、製薬工場で生産するにも医薬品の物性が分かっていると本質を理解できません。さらに、生産設備、包装材料、流通経路、医療現場での使われ方、デザイン(色、形、包装、大きさ)、患者さんの気持ちなどを考える必要があるため、色々な方向から物事を考え、物作りの楽しさを実感してもらえるような指導を心がけています。



左から伊藤准教授、森家助手、中野助教、九川教授、藤野講師、南敬講師



患者さんに寄り添ってサポートしたい

兵庫医科大学病院 看護部 1号館11階西病棟

看護師 勝部 真由美 さん 中山 恵 さん (左から)

1号館11西病棟は肝・胆・膵外科病棟です。主に、肝臓・胆道・胆嚢・膵臓の悪性腫瘍を中心とした手術や、内視鏡外科手術などを受けられる患者さん、ターミナルケアを必要とされる患者さんが入院されています。常に忙しい病棟ですが、若いスタッフも多く、互いに声をかけあって元気いっぱい頑張っています。近畿圏外の遠方から来られる患者さんも多く、その土地特有の話題が会話のきっかけになることもあります。

患者さんの退院後まで考えて支援したい

勝部 真由美 さん

実践力をつけたくて、外科病棟への配属を希望し、入職7年目です。リーダー業務を中心に新人教育を担当しています。忙しく厳しい職場だからこそ、互いを認めあうことが大切。ちょっとしたことで褒めるようにしており、この積み重ねが一人ひとりの自信につながると考えています。

患者さんは「手術をしたらそれで終わり」というわけではありません。この先も再発のリスクを抱えておられる方、継続したケアを必要とされる方が多くおられます。入院中にご自身の状態について少しずつ受け止めていただくこと、退院後の生活を考えた関わり方をすることも、重要なケアだと考えています。

今後も、入院期間の短縮化・患者さんの高齢化・ターミナル期の在宅療養の増加など、ますます医療・介護サービスなどを必要とされる患者さんが増えてきます。ご本人やご家族と十分に話し合い、関連部署と連携しながら、少しでも不安を軽くした状態で退院してもらえようという支援していきたいと思っています。難しい手術を受けられた患者さんが回復し、各方面との連携を経て無事に在宅生活に戻られた時などは、本当に嬉しいですね。

人間の生命力の強さ、医療の力に感動

中山 恵 さん

この病棟で「人間の生命力の強さ」と「難しい状態を打開する医療の力」を見てきました。たとえ時間はかかっても少しずつ回復されていく患者さんの姿を見ると、その過程に少しでも関わってよかったと思います。手術や検査後のケア、輸液管理など業務が重なって自分に余裕がない場合でも、患者さんとの信頼関係を築いてくために、常に笑顔を忘れずに接する、些細なことでも真摯に対応する、など当たり前のことをきちんとできるように気をつけています。

入職した頃は患者さんと上手くコミュニケーションを取ることができず、先輩方の励ましに支えられてきました。先輩方は他科を経験されている方も多く、知識も豊富でとても頼りになります。私もリーダー業務を始めており、これからは後輩たちをサポートしていかなければいけないので、もっと視野を広げたいと思っています。他部署の同期ともよく話をしますが、自分にはない知識や経験があり刺激を受けますね。「もっと頑張ろう」という気持ちになります。



卒業生紹介



第1期生
大江 与喜子さん
医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院 院長

近況

116床の内科の病院長をしています。兵庫医科大学で血液内科、輸血、移植を学んだことをそのまま民間病院で実践しようと、無菌室まで作り、前教授の原宏先生をはじめ、血液内科のスタッフを擁して血液疾患の入院を抱えています。兵庫医科大学で実施される移植の前治療や、移植対象外の血液疾患に関しては、先端的な治療も行っています。ポリクリで学びに来る学生には、大学では少ない一般的な血液疾患の治療と一緒に勉強していただきます。また、医師会の役員として地域医療の推進や医療制度について勉強し、行政や地域の人々と共に社会的な役割も担っています。最近では女性医師の勤務環境や復帰支援の問題等、女性医師の社会的躍進を応援する活動にも取り組んでおり、兵庫県女性医師委員会で飯島尋子教授にもご協力いただいています。

学生時代

一期生として兵庫医科大学を作ってきたことが何よりの思い出です。いくつもの運動部、文化部に参加して、いろいろなクラブの土台を作りました。醫聖祭の原型である大学祭では当時のトップスター「キャンディーズ」の公演を開催しました。父兄や教職員と和む園遊会の開催も一期生からの始まりです。他にも、運動会、餅つき大会、修学旅行まで行いました。そのように

略歴

- 昭和53年 兵庫医科大学卒業
- 昭和53年 兵庫医科大学第2内科入局
- 昭和54年 上ヶ原病院院長就任
- 昭和57年 兵庫医科大学大学院修了
- 昭和57年 兵庫医科大学 輸血部 助手
- 昭和58年 兵庫医科大学 非常勤講師

してできたクラブの中には、今や全国大会などでしのぎを削って闘うものもあり、誇りに思います。ポリクリや卒業時の教員の評価、ベストティーチャー賞というのも一期生からの発想です。学生、教職員ともに新しい大学を作ると同じ目標に向かって、意欲的に協力できていました。

卒業後に学んだこと

「医者は一生涯勉強」と言われます。医学、医療、臨床だけでなく、政治、社会、倫理など幅の広い知識も必要です。実際、よく勉強されている先生方は多く、そういった先輩方からたくさん知識を盗んで自分自身を成長させてきました。医療人だけでなく違った職種、違った環境の人たちとの共感、協働が必要であること、医者一人では何にもできないこと、そして、たくさんの人に助けられていることを学びました。

兵庫医科大学に期待すること

大学という大きな看板の中では何でもできると思いがちです。開業医、市中病院を経て最後に大学病院で診断がつくのは時間や経過も味方になっているからです。大学病院には各専門家がいますので、横の連携を上手くとって欲しいと思います。専門知識は惜しまず使い、且つヒトを臓器別に細かく観るのではなく「whole」の人として観る目も養って欲しいと思います。

略歴

- 昭和58年 兵庫医科大学卒業
- 昭和58年 兵庫医科大学第1外科入局
- 昭和61年 神戸川崎病院外科医員
- 昭和64年 兵庫医科大学第1外科医員
- 平成 3年 兵庫医科大学第1外科助手
- 平成13年 兵庫医科大学第1外科講師
- 平成14年 三好病院外科

ら、迷わず第1外科に入局しました。当時は24時間営業どころか1週間連続営業など当たり前で、手術場の更衣室の床に横になって寝ていたことも非常に懐かしく思います。先輩からは「とにかく勉強しろ、患者さんから目を離すな」という教えを受けました。患者さんを常に見ていると小さな変化でも早く発見できる、それにより迅速な処置も可能、ということです。私が研修医を指導する立場になった時もそのように指導しましたし、現在も同様のスタンスで医療を行っています。

兵庫医科大学に期待すること

地域の中核病院として、我々近隣病院のよき相談相手、よきパートナーであってほしいと考えます。現在も、様々な疾患の患者さんを兵庫医科大学病院に紹介しておりますし、逆紹介も多数あります。今後もより緊密なパートナーシップを築いていただきたいと思います。また、卒後教育に力を入れていただきたいと思います。局所の管理しかできない医師になるのではなく、局所管理、かつ全身管理をすることのできる医師の教育をお願いします。

学生に向けてのメッセージ

今でも時々病院実習の学生に接することがあり、最近の学生はよく勉強していると思います。実際に医師になった時、接する患者さんの多くが親世代以上のご高齢の方です。つねにやさしく、敬愛の念をもって接してください。またいつでも患者さんの顔を見ながら診療、説明ができる医師を目指してください。



第6期生
田中 恒雄さん
医療法人芳恵会 三好病院 外科

近況

現在JR甲子園口の北側、武庫川沿いの三好病院に勤務しています。皆様方も1度は目にされている病院だと思います。昭和58年に卒業し、当時の第1外科(現肝胆脾外科)に入局、平成3年に助手、平成13年に講師となりました。三好病院とは平成4年より消化器手術の応援医師として関わり、平成14年より常勤医師として働いています。三好病院は閑静な住宅街にあり、138床の小さい病院ではありますが、地域密着型病院として地域の皆様のため、また西宮救急輪番病院として1次、2次救急に微力ながら貢献しております。大学では消化器外科医として勤務していましたが、現在では消化器のみならず、整形外科領域やその他、あらゆる疾患の患者さんの治療を行っています。また兵庫医科大学でも非常勤講師として週に1回、超音波治療、診断に携わっており、大学での最新医療、知識に接するのを楽しみにしています。

学生時代

6期生ですので我々の入学とともに全学年がそろいました。学生時代は「平均的劣等生」で、1年生から5年生まではなんとなく過ごし、なんとなく進級してました。ただ6年生に進級した際、心機一転?し猛勉強を始め、各科卒業試験では追試が1科目もなく、友人たちを驚かせた記憶があります。

卒業後に学んだこと

消化器疾患に興味があったこと、ポリクリで医局の雰囲気に接したこと

Join Us 第1回

課外活動紹介

兵庫医科大学

「横と縦のつながりが強いクラブです!」

バスケットボール部 主将 4年生 相坂 龍哉 さん

マネージャーを含め約30名が所属し、毎週3回(火、木、土曜日)平成記念会館体育館で練習しています。

年に5回ある大会に向けてチーム一丸となって頑張っており、今シーズン最後となる近畿医科歯科薬科学生バスケットボール大会に向けても、男女共に猛練習を行ってきました。まずは基本練習をしっかりと行い、初心者も経験者も常に高い意識を持って取り組んでいます。最近では体カトレーニングにも力を入れています。

練習後は必ずミーティングを行い、部員同士で意見交換をしています。練習以外でも色々なイベントを行うなど、皆が良く笑う楽しいクラブです。バスケットボール部の歴史は長く伝統があります。OB・OGが数多くおられるので、横だけでなく縦のつながりも強いクラブです。

次の西日本医科学学生総合体育大会での勝利を目指して頑張ります!



「部員同士が向上できるように努めています!」

バレーボール部 主将 3年生 谷口 朋 さん

現在39名が所属し、毎週3回平成記念会館体育館で練習しています。火、木曜日は授業終了後から3時間、土曜日は4時間しっかり練習しています。大会には、春と秋にある近畿医科学学生総合体育大会や医療系、夏の西日本医科学学生総合体育大会などに参加しています。

打ち上げや忘年会、バーベキュー、大学祭の模擬店など、色々な行事に学年・男女を問わずに参加する仲の良いクラブです。

その分、練習がだらけたものにならないよう、ある程度の緊張感を持たせる様に意識しています。また、互いに向上できるよう先輩・後輩に関わらず意見はしっかり出し合います。

これからも、部員同士が刺激しあってレベルを高め、コミュニケーションをしっかり取ってより良い先輩・後輩関係を築いていきたいと思っています。そして、大会でいい成績を残していけるよう、頑張ります!

